


山口県労福協機関紙 連合山口・労働金庫・こくみん共済coop山口推進本部・県生協連・13地区労福協

やまぐち労福協

vol.176
2020.1月号

一般社団法人 山口県労働者福祉協議会

〒753-0078 山口市緑町3番29号 TEL(083)925-7332 FAX(083)921-1650
Eメール roufuku@orange.ocn.ne.jp 発行人:古都 昇・編集人:藤山 毅

あけまして
おめでとうございます 

2020 

旧年中は大変お世話になりました
本年もどうぞよろしくお願い致します



一般社団法人 山口県労働者福祉協議会
生活あんしんネット
しゅうなん若者サポートステーション
パーソナル・サポートセンターやまぐち

E-mail roufuku@orange.ocn.ne.jp
U R L <http://www.welfareyg.jp/>

会 長 中 繁 尊 範
役職員一同



労働者自主福祉運動の 積極的な推進を

山口県労福協
会長 中繁 尊範

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、清々しい新春をお迎えのこととお慶び申し上げますとともに、労福協の諸活動に対しますご支援・ご協力に心より御礼申し上げます。

さて、私たちを取り巻く環境は、雇用の劣化、格差や貧困の広がり、少子高齢化、環境問題など様々な観点から社会の持続性の危機が深まっています。また、社会的な孤立や分断が進み、自己責任論が蔓延し、「助けて」と言えない社会の空気が強まっています。こうした状況の中、中央労福協は結成70周年を節目として、2030年を目標年次として新たなビジョンを策定しました。今こそ、貧困に終止符を打ち「平和で安心して働き暮らしていける」包摂的で持続可能な社会を実現させなければなりません。

そのためには、「連帯・共同」「助け合い・支え合い」を職場・地域にしっかりと根付かせ、労働組合と福祉事業団体が「ともに運動する主体」として、労働者自主福祉運動をより積極的に推進し、福祉事業の利用促進と共助拡大につなげていかなければなりません。まさに今、労福協や労働組合の真価が問われています。

山口県労福協も、“生活あんしんネット”、“しゅうなん若者サポートステーション”、“パーソナル・サポートセンター”などの支援事業を継続しています。今後も、福祉事業団体や行政・NPO組織等との連携をより一層強化し、「連帯・協同で安心・共生の福祉社会」の実現に向け、暮らしの総合支援を始めとする労福協運動をより積極的に推進してまいります。

本年も、県労福協へのより一層のご支援をお願いいたします。新しい年が皆様にとって幸多き年でありますよう、心からご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。



「令和」の時代の 県づくり

山口県知事
村岡 嗣政

新年明けましておめでとうございます。

山口県労働者福祉協議会の皆様方には、新春をお健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

また、中繁会長をはじめ、貴協議会の皆様方には、平素から、県政の推進に格別のご理解とご協力を賜りますとともに、労働者福祉の向上に向けた活動に積極的に取り組んでおられますことに対し、心から敬意を表しますとともに、厚くお礼申し上げます。

さて、去年は、新たな時代「令和」が幕を開けた大きな節目の年になりました。私は、この時代においても、県民の皆さんが安心して暮らせ、豊かさを実感できる、そうした希望にあふれる県づくりをしっかりと行ってまいりたいと考えています。

今後、本県の人口はさらなる減少が見込まれる中、将来にわたって元気な山口県を創っていくためには、県内に人をとどめていけるよう産業を振興し、魅力ある雇用の場を創出するとともに、若い世代が結婚・出産・子育ての希望を叶えていけるよう環境の整備を進める必要があります。また、誰もが住みたい、住み続けたいと思える地域社会を作っていく積極的な取組を進めていかなければなりません。

私は、県民誰もがはつらつと暮らせる「活力みなぎる山口県」の実現を目指し、「令和」という新たな時代の県づくりを、「やまぐち維新プラン」に基づき全力で取り組んでまいりますので、どうか貴協議会の皆様方には、引き続き、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、山口県労働者福祉協議会のご発展と皆様方のご健勝、ご活躍を心から祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



厳しい時代だからこそ、 「共生・共助」の精神を

連合山口
会長 伊藤 正則

新年を迎え謹んでご挨拶を申し上げます。

今、私たちを取り巻く情勢は、人口減少と超少子高齢化が急速に進み、すでに顕在化している労働力不足への対応のみならず、社会保障制度と地域社会の持続可能性を確保することが大きな課題となっています。

また、AIやIoTなど第4次産業革命と言われる技術革新の進展により、経済効果と生活者の利便性向上などが期待される一方で、いわゆる「曖昧な雇用」の増加なども指摘されています。

加えて、不安定な雇用や格差の拡大、貧困の固定化・連鎖、生活と仕事のバランスがとれない働き方・働かせ方、ハラスメントや人権にかかわる課題など、深刻な問題は依然として解消されていません。

いま最も大事なことは、すべての働く者・生活者が安心して働き、暮らしていくことのできる社会をめざして、誰もが共有できる将来ビジョンを描き、その実現に向けて社会を動かしていくことでもあります。

そのためには、まず私たちがひとつの大きな塊となり、活動を活性化させなければいけません。

厳しい時こそ、労福協運動の原点である「共生・共助」の精神が重要となっています。「働くことを軸とし、誰もが取り残されることのない安心社会」を実現させるためにも、運動の価値を共有し合い、地域から共感の輪を広げるべく行動を、ともに展開していきましょう。

新しい年が皆様にとって幸多き年でありませう、心からご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。



働く人の “夢と共感”を創造する 福祉金融機関の 〈ろうきん〉であるために

中国労働金庫山口県営業本部
本部長 網戸 茂

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、中国労働金庫に対しまして格別のご理解とご協力を賜り、心より感謝を申し上げます。

日本経済は個人消費が緩やかに持ち直していることから、基調としては回復が続けていますが、一方では、非正規労働者の増加による雇用の不安定化と所得格差の拡大により、勤労者の家庭では、景気回復の実感に乏しく、可処分所得の減少や社会保障負担の増大など、様々な課題が山積している中で、昨年10月に実施されました消費税の引き上げが、生活不安を募らせるなど、先行きは不透明な要因が多く存在しています。

こうした状況下、金融環境においても、日銀によるマイナス金利政策が長期化する中で、環境は厳しさを増し、今後迎える本格的な人口減少・高齢化による市場規模の縮小も視野に入れば、金融機関には、これらの環境変化に対応する「持続可能なビジネスモデルの構築」が求められています。

この状況を踏まえ、中国労働金庫は、第6期中期経営計画の基本方針である、身近で勤労者から頼りにされる金融機関として、「顔の見える活動」と「コンサルティング機能の発揮」が重要であることに加え、福祉金融機関としての存在意義や、その役割は限りなく大きいものと認識しています。だからこそ、会員に信頼され“夢と共感”を届けられる〈ろうきん〉であり続けるために役職員が一丸となり、会員・組合員の幸せにつながる“すべての”生活応援運動の取組みに邁進してまいります。

本年もよろしくお願い申し上げます。





70年の歴史の上に、 新たな共同の積み重ねを

山口県生活協同組合連合会
会長理事 有吉 政博

新年あけましておめでとうございます。

昨年も、県生協連合会ならびに生協連加盟の13生協が、さまざまなご協力を賜りましたことにまずもって厚くお礼申し上げます。

特に昨年は、生協連が設立されて70周年の節目の年でした。

1945年終戦、47年に平和憲法が施行され、翌48年には生協法が制定されました。

混乱した戦後の世相の中で暮らしを守ろうと生協を設立し、さらには全国で3番目に県連合会を設立した先人たちの思いには、新憲法の下、民主主義を自ら実践していくという意思が強かったと感じます。

以来、戦後復興を支える産業界の成長の中で、職場に職域生協が沢山作られた時代もありますし、労働運動との関わりで地域生協が作られた時代もありました。そうした時代等も経て、70年を経過した今日、職場や大学でそして地域で、協力・協同し、助け合う組織を築く積み重ねが、県内13生協、組合員数は共済生協で48万人、地域生協で22万世帯という到達点に至りました。さらに、医療、福祉、学生生活のそれぞれの分野で、安心を築く営みを続けています。

この間、生協連として、県消費者団体連合会、NPO法人消費者ネット山口などの設立にも関わり、一昨年からは、UNICEFの事務局団体のお役目も担わせていただいています。

どうぞ本年も、様々な分野でご支援賜りますようお願いいたします。



助け合いの共済活動で 暮らしの安心・安全を

こくみん共済coop山口推進本部
本部長 中繁 尊範

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、清々しい新春をお迎えのこととお慶び申し上げますとともに、こくみん共済coopの共済活動に対しますご支援・ご協力に心より御礼申し上げます。

さて、全労済は昨年6月より「こくみん共済coop」として新たなスタートを切らせていただきました。今後も、協力団体の皆様と培ってきた労働者自主福祉による事業と運動を発展させ、組合員の皆様に共感され親しまれる共済生協として、助け合いの輪をむすぶ「お役立ち推進」に努めてまいります。

昨年も、自然災害による甚大な被害が全国各地で発生し、8月の九州北部豪雨以降、被災受付は5万件を超えおり、今なお全国の職員が一日も早く共済金がお支払いできるよう災害対応にあたっています。改めて、被災されたすべての皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

山口推進本部といたしましても、「助け合い・支え合い」の共済活動を通じて、組合員の暮らしの安心・安全、福祉の向上はもとより、豊かで安心できる社会の実現に向け、引き続き、協力団体の皆様との「つながる力」で社会的使命を果たしてまいります。

新しい年が皆様にとって幸多き年でありませう、心からご祈念申し上げます、年頭のご挨拶といたします。



「2019年度地区労福協会長・事務局長会議」報告

～ さらなる労働者自主福祉運動の推進に向けて取り組みを確認 ～



11月26日（火）山口市で開催した会議には地区労福協役員、労働・福祉事業団体より31名が出席しました。

はじめに、中繁会長が労働者自主福祉運動の推進のため連合山口構成組織への要請活動を行うことや、下関地区労福協の「福祉事業団体会議体への参加率向上特別提案」を紹介し、「今会議での活動報告や意見交換により課題を共有して、県労福協・地区労福協が連携して労福協運動の推進につなげていこう」と挨拶

しました。

続いて各地区労福協が、事業団体の育成・強化を目的とした合同推進会議・会員間の親睦イベント・社会貢献活動・労働福祉セミナー等について2019年度の中間活動報告をしました。労働・福祉事業団体報告では、連合山口がクラウドファンディングによる秋吉台の草刈ボランティアの報告、中国労金が「ろうきん運動活性化ラウンドテーブル」、こくみん共済coop山口推進本部が「こどもの成長応援プロジェクト」と連動する取り組みについて報告しました。

最後に、勤労者の生涯にわたる生活の安心と充実に向けて、更なる労働者自主福祉運動の推進のため、取り組みに繋がる原点としての会議体参加率向上を呼びかける特別提案を全員で確認しました。

中央労福協「第64回定期総会」報告

～すべての働く人の幸せと豊かさをめざして、連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくります～



— 中央労福協 神津里季生 会長 —

11月29日（金）東京で中央労福協「第64回定期総会」が開催されました。

冒頭、神津会長が「労福協は1949年に“福祉はひとつ”で結集し、すべての働く人たちの幸せや豊かさの実現のための運動を積み重ねてきた。貧困をなくし、『誰ひとり取り残さない』包摂的で持続可能な社会をつくるには、

労働組合と協同組合がそれぞれ役割を發揮するとともに、相互の連携が極めて重要。労福協は『ゆるやかな協議体』として、独特の「よさ・強み」を活かしながら、労働運動と労働者福祉運動、労働運動と消費者運動・市民運動などをつなぐ役割をさらに發揮していくことが必要。この労福協というツールを大いに活用していただき、みんなで“つながる”という運動を広げて、新しい社会や時代を切り拓いていこう」と挨拶しました。

結成70周年を迎えて策定された2030年ビジョンでは、政策・制度の改善を求める社会運動と労働者自主福祉運動を両輪として、支え合い・助け合いを社会に根づかせていく活動に取り組むことが確認されました。

「働きたい」あなたを応援します。

利用無料

一般社団法人 山口県労働者福祉協議会

しゅうなん若者サポートステーション



たとえば・・・

- ハローワークへ行くのも勇気がいる・・・
- 採用面接を何回受けても上手くいかない
- 働きたいけど、コミュニケーションが苦手・・・

このような働くことに関する様々な悩みをもつ若者を、キャリアカウンセラーや臨床心理士がサポートします。

個別相談を中心に、それぞれの悩みに合った講座も用意しています。

15歳から39歳で働いていない方であれば誰でもご相談できます。

ご本人だけでなく、ご家族からのご相談も受け付けています。



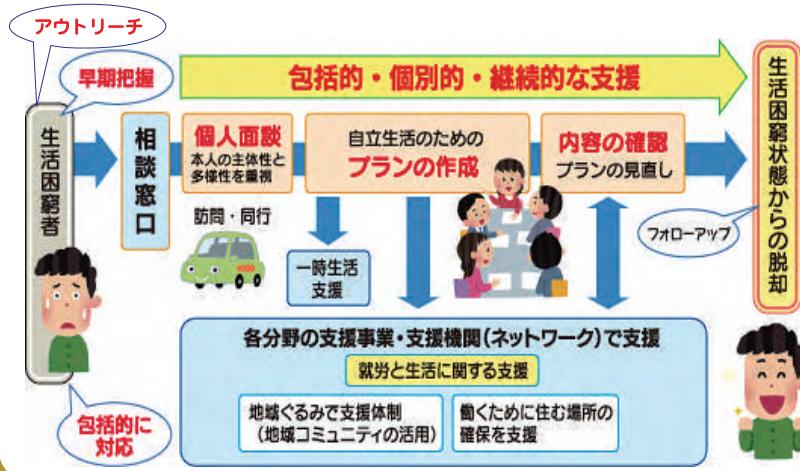
☎ **0834-27-6270** ✉ **info@s-saposute.com**

利用時間：火～土 … 9：30～17：30 休館日：日・月・祝日・年末年始・お盆

対象地域：周南市、下松市、光市、柳井市、岩国市、田布施町、平生町、周防大島町、上関町、和木町

パーソナル・サポートセンター やまぐち

(生活困窮者自立相談支援事業) ※山口市委託事業



相談者に寄り添いながら、就労や生活に関する問題の解決に向け相談者の自立につながるよう、共に考え行動していきます。相談無料(秘密厳守)です。お一人で悩まずにお気軽にご相談ください。

● 相談予約

☎ **0800-200-6291**
(山口県内のみ)

● 相談時間

月曜～金曜(土・日・祝休み)
9：30～16：30



求人でお困りではありませんか？
求人主の皆様、
求人の情報承ります。
ぜひご相談下さい。

求職・求人、労働、生活・福祉に関する

無料相談受付中

お困りの事があれば一人で悩まず

おこまりなやみ

☎ **0120-050-783**へ!!

携帯電話から
でもお電話
できます

求職・求人の職業紹介

厚生労働省許可(35-ム-300004)
お仕事をおさがしの方
労働者をおさがしの事業主の方

労働なんでも相談

お仕事や職場でお困りの事など

生活・福祉情報 でんわ相談

福祉・医療・介護・暮らしの事でお困りの方



職業紹介・労働・福祉生活相談
生活あんしんネット

私たちがお手伝いをいたします。■労福協 ■連合山口 ■ろうきん ■こくみん共済coop ■生協連 ■こころの会

お問合せ ●受付時間/午前9:00～午後4:00(土・日・祝日は休み)

山口県労福協 | 検索

相談室/山口市緑町3-29 労福協会館1階

http://www.welfare.g.jp